

## 1. 縫製企業関連情報

### ①3/18、Maru Chuen garment factory 社にてストライキ、労働者が道路封鎖

3/18、プノンペンの Dangkor 地区にある Maru Chuen 縫製工場では、1000 人を超える労働者が集まり Veng Sreng 道路をおよそ 30 分間にわたって封鎖した。20 本以上のタイヤに火を点けて、最低賃金を月 61ドルから 100ドルに引き上げることなどを要求した。労働者組合連盟の職員である Tha Tory 氏によると、地区の職員達が道路封鎖を止めさせるため、労働者と工場側が交渉をもてるように仲裁を行なったことにより、彼らは道路を開放した。しかし交渉は失敗に終わり、労働者達は3/19にもまた道路を封鎖する予定であることを話した。「成功するまでいくらでもやります」と Tory 氏は話す。Maru Chuen 縫製工場はコメントを拒否した。

### ②3/25、H&M とカンボジア

先週発表された縫製工場のリストによると、カンボジアにある縫製工場の中に、スウェーデンの有名ブランド H&M 社より受注をしている工場が多くある。そのうち約4分の1の工場では2010年以來労働者が大勢失神するといった現象や大規模なストライキが起きている。

世界中に 2800 店舗を展開している H&M は、カンボジアでは 33 もの工場と取引していると発表している。

こういった情報を公表することについて H&M は、「私たちは、サプライヤーである工場をこうして公共で発表することのできる、最も大きな世界企業のうちのひとつだ」と声明の中で述べている。該当声明には「H&M はもっと透明性があり持続可能性の高いファッション産業の創造に貢献したいと考えています」とも書かれている。工場のリストには、2010 年以降ストライキや労働者の失神などでポスト紙の見出しをかざった工場の名前が、少なくとも 8 つあった。たとえば Kampong Chhnang 州にある M&V 社がそうである。そこでは 2011 年に数百人が失神を起こしており、労働環境の改善を求め 3000 人以上の労働者がストライキを行った。また、プノンペンの Hung Wah 社では 2011 年に 100 人が失神し、さらに先月 50 人が同じく失神した。プノンペンの Dangkor 地区にある Cambo Handsom 社では解雇された労働者の復職を求めたストライキが行われ、警察官と衝突し暴力にまで発展した。H&M はまた、12 月に工場主が海外へ逃亡し勝手に閉鎖された Kingsland 工場とも、以前契約をしていた。

カンボジア法教育センターの労働プログラム代表 Moeun Tola 氏は、「H&M が作成したリストは組織が下請け工場を監視するのに役立つだろう」、と話をしている。このリストは、12 月～2 月の3か月間の財政レポートとともに発表されたものであり、この財政状況に関して H&M の Karl-Johan Persson 氏は、「さまざまな経済危機を含む要因により、難しい時期であった」、と話している。

### ③3/25、48時間で90人の従業員が失神

3/25、プノンペン市内の SL Garment 社にて、48 時間以内に 90 人の失神者を出す事件が起こった。政府及び組合が本件について調査を行っていたが、Coalition of Cambodian Apparel Workers' Democratic union の Um Visal 氏は、「労働者達が失神した日に訪ねました。周辺は異臭が漂い、私は敷地外にいたのですが、息をするのも困難な状況でした。その匂いはウォータークーラーから来ていたと思います」と話した。また医者のお話によると、「労働者たちの健康状態は良好ではなく、彼らは朝食を食べてない」、とも話している。

### ④3/27、フン・セン首相、スピーチで最低賃金80US\$に言及

「組合、雇用者、そして私及びカンボジア人民党の調停により、最低賃金は健康手当を含みで 80ドルと決定した」とフン・セン首相は、コンボンチャム州で行われたスピーチにて、賃金上昇について直接語った。加えて「引き続き私たちは縫製業界と、より賃金上昇ができるよう交渉を続けて行きます」とも話した。また 1990 年から結果的に 30ドルの上昇した、とも述べた。



### ⑤3/29 フン・セン首相が過度のストライキに言及

フン・セン首相は、縫製業の暴力的なストライキ、道路封鎖等の行為に対して、回避をするように組合、工場、労働者に対して言及した。「昨今、多くのストライキやデモが起こっている。そのいくつかは暴力的であったり、個人的な資産まで破壊する結果になっている。警察、軍警察、及び関係部署はそれらの行為を止めなければならない」と話した。

また首相は組合について触れ、「組合は労働者を強制的にストライキに参加させるような事は行ってはならない」、と述べ、工場側に対しては、「労働環境の向上を図る必要がある」、とも述べたフン・セン首相のこの労働環境と最低賃金への言及は、7月の選挙に先駆けたアピールとも言われている。

これに対してGMACのLoo氏は「労働者が不法な行為や暴力的なストライキを働いた時の法整備、対処構造の強化が必要だ」と述べている。Cambodian Confederation of UnionsのRong Chhun代表はフン・セン首相に同調を示したものの、「首相が声明で更なる賃金向上についても触れた為、更なる大規模なストライキが起こる可能性がある」と危惧した。

## 2. その他の情報

- カンボジアのフン・セン首相は、中国の海南島ボアオで開かれる「ボアオ・アジアフォーラム」年次総会に出席するのに合わせて、中国国営新華社通信のインタビューに応じ、中国の支援拡大による経済発展に期待感を示した。
- 3/18、イギリス人俳優がKampot州で溺死。Kampot州の川で遊泳中に行方不明になっていたイギリス人男性の死体が漁師により発見された。Kampot州警察によると、イギリス人の若手俳優である名前はTommy Vineさん(23)と発表があった。Vineさんは酒に酔っていたとの情報もあり、橋から飛び込み、その後溺死したと見られている。
- 3/22、シェムリアップの遊園地で邦人が死亡。アンコールワットのお膝元として多くの観光客で賑わうシェムリアップ。そのとある小規模な遊園地で、走行中のジェットコースターが約2メートルの高さから脱線し、最前列に乗っていた日本人女性 滝田祥さん(21)が死亡した。同上していたカンボジア人ガイドも大けがを負った。ガイドの弟によると、彼は回復してきていると言う。この事件に関し、3人のカンボジア人従業員が逮捕された。シェムリアップ警察のThoeung Chendarith長官は「お客の安全の配慮が足りていなかった。彼らはお客を乗せる前に、マシンの細部から座席まで確認すべきだった」と述べた。

## 3. 最近の外資の進出状況など

- 3/29、日本のベンチャー企業 テラ・モーターズの神取氏は「まだ確固たるプランはないものの、我々はカンボジアもマーケットの一つになると考えている」と話し、電動トゥクトゥク(3輪タクシー)の潜在的マーケットとしてカンボジアに着目した。テラ・モーター社の3輪自動車は最大時速50キロで、全長は3.3メートルとなり、6人が乗車可能だと言う。また販売予定価格は3,000ドル前後が考えられているようだ。神取氏は「我々はまだカンボジアに行った事はないものの、燃料代金は高く、そして排気ガス問題もあると思います。その中で、我々のトゥクトゥクであればガソリン代の4分の1程度に抑える事ができます」と述べた。プノンペン市内のトゥクトゥクドライバーHan Phiom氏に話を聞いた所、「デザイン、排気ガスについては好感を持つが、現在、彼が所有しているトゥクトゥクは1,500ドルだと言い、3,000ドルと言う価格は高過ぎるし、他のドライバーも同じ事を思うだろう」と話した。
- 4/02、カンボジアのタイニン省人民委員会とカンボジア・プレイベン州は、タイニン省タンビエン県タンビン村で、両国を結ぶタンナム・モンチャイ橋の建設を起工した。総投資額は440億ドン(約220万ドル)で、タイニン省の予算から支出されるという。プロジェクトでは、(1)全長77.28メートル、幅8メートルの鉄筋コンクリート製の橋(2)タイニン省の国境環状道路と新設した橋とを結ぶ道路(約1.5キロ)を建設する。工期は18カ月。タイニン省とカンボジア国境各地域との貿易拡大が期待されるという。
- 4/02、タイのチャチャート運輸相は、タイ国鉄がカンボジア国境までの鉄道工事の入札を実施することを明らかにした。国鉄は、中部チャチュンサオ県から東部サケオ県アランヤプラテートまでの線路改良と、カンボジア領ポイペトに接するクロンルック地区までの延伸工事を行う。全長は174キロ、工期は2年、投資予定額は28億2200万バーツ。運輸相によると、カンボジア側もポイペトまで全長48キロの鉄道を整備している。しかし、両国側の線路を接続する区間には鉄橋(43メートル、投資額約3000万バーツ)の建設が必要で、工事費の負担をめぐるタイとカンボジアの話し合いは依然、結論が出ていないという。同相は、路線整備について、アランヤプラテート検問所経由の越境者数が1日当たり2万人、貨物は金額ベースで年約500億バーツに上っているため、鉄道整備の採算性が高いと指摘。また、両国間の国境貿易を一段と拡大することを見込み、域内の観光促進にもつながると述べた。
- 4/08、住友商事は8日、タイ物流子会社を通じ、タイの東北部プラチンプリ県の「304工業団地」に物流センター用地(4ヘクタール)を取得したと発表した。第一期として約1万平方メートルの大型倉庫を建設し、今年後半の稼働を目指

す。投資額は約7億円。また新センターは、カンボジア国境から約120キロという立地にあるため、同社はタイ東部地域の物流網を拡充する一方、バンコクーカンボジア・プノンペンーベトナム・ホーチミン市を結ぶ「南部経済回廊」の要衝の拠点と位置付け、「在カンボジア日系企業向けなどの物流も担っていく」としている。

- 4/10、イオン銀行は、カンボジアやラオスでの井戸や雨水貯水タンクの設置を支援する募金の受付口座を6日付で開設したと発表。イオン銀行は「カンボジアやラオスでは、水くみを中心とした家事労働のために学校に通えない子どもたちが増えている」とした上で、「子どもたちが水くみから解放され、学校に通いながらきれいな水を使えるよう支援したい」としている。
- 4/08、タイの衣料品メーカー大手「ハイテク・グループ」は、タイ国境から約20キロに位置するカンボジアのバンテアイ・メアンチェイ州に工場を新設。7月に稼働開始予定。投資額は約1億5000万バーツ。
- 4/10、タイの畜産・食肉大手ベタグロ・グループは、カンボジアのプノンペン工業団地に年産20万トンの飼料工場を、今年5月に着工し2014年末までに完成すると発表。同社はカンボジア向けに毎月3600トンの飼料を輸出しており、現地生産により輸送コストを削減し、同国での競争力を引き上げる予定。なお同社はすでにカンボジアの中部カムポンチャナンに広さ400ライ(1ライ=1600平方メートル)の養豚場を建設中で、来月に完成する予定。投資額は1億6000万バーツで、1500頭を飼育する。プノンペンの飼料工場は同社にとって2番目のカンボジア投資となる。

以上